

平成 年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	復活！生坂産「ころ柿」
事業主体 (連絡先)	生坂村 (0263-69-3111)
事業区分	⑥オ その他地域の特色、個性を活かした産業振興、雇用拡大に資する事業
事業タイプ	ハード
総事業費	2,559,139 円 (うち支援金： 1,919,000 円)

事業内容

犀川の川霧により先人たちが「ころ柿」として作り販売してきた干し柿を、授産施設の独自作業として取り組んでいくための施設整備を行った。

①皮むき機の購入

柿専用の全自動皮むき機の購入

②乾燥施設の整備

皮をむいた柿を干すためのパイプハウスの建設と、柿を吊るすための施設整備

③干し柿講習会

品質の良い干し柿づくりを目指すため、地域の方との技術研修、共同作業の実施

柿採り作業、機械取扱い講習、柿吊るし作業等



【柿の皮むき作業】

【目標・ねらい】

- ①授産施設の仕事の確保と利用者の増
- ②村の特産品であった「ころ柿」の復活と、地域の生産組合との連携による地域資源活用による産業の振興
- ③柿を採取することによる鳥獣被害防止

事業効果

- 1 未収穫の柿を減らすことで、鳥獣被害の防止となる
- 2 授産施設の作業とすることで、施設利用者の就労の場の確保となる
- 3 干し柿づくりに取り組む生産組合との連携により、作業の相互協力ができ生産量の増加となった
- 4 作業連携のみならず、地域とのコミュニケーションが図られるため、授産施設運営への理解が得られた

※自己評価【 B 】

【理由】

施設整備と地域（草尾地区）との連携により、地域での生産量は増加した。授産施設の移転が遅れてしまったことから次年度以降、独自作業として実施し、販売を行う。

今後の取り組み

- ・干し柿づくりは期間が限定されてしまうため、作業員の確保と、その作業員が通年就労できるような仕事の確保を行い、授産施設としての役割を果たしていく
- ・産地となるため良質な品物を安定的に生産していける技術の習得
- ・生産組合との連携強化